

学 則

①開講目的	障がい福祉や介護に関わる人員を育成するため
②研修課程	介護職員初任者研修
③講義形式	通学
④研修事業の名称	プラスワンケアサポート介護員養成研修（通学）
⑤実施場所	講義：川西市アステ市民プラザ（住所：川西市栄町 25-1） 演習：川西市アステ市民プラザ（住所：川西市栄町 25-1）
⑥研修事業の 実施主体	プラスワンケアサポート株式会社 （事業者指定番号 21301 ）

⑦介護職員養成研修課程カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	①介護保険サービス（居宅、施設）、介護保険外サービスについて。	(1)－①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	①居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容について。 ②居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的イメージをつける。 ③ケアプランからサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携について。	(1)－②
(2)介護における 尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人権と尊厳を支える介護	①人権と尊厳の保持として下記内容について下記を学習する。 *個人としての尊重 *アドボカシー *エンパワメントの視点 *「役割」の実感 *尊厳のある暮らし *利用者のプライバシーの保護 ②介護分野における I C F。 ③Q O L の考え方、生活の質。 ④ノーマライゼーションの考え方 ⑤虐待防止・身体拘束禁止、高齢者虐待防止法、高齢者の養護者支援について。 ⑥個人の権利を守る制度の概要（個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業）について。	(2)－①
	②自立に向けた介護	①自立支援として下記内容について下記を学習する。 自立・自律支援、残存能力の活用、動機の欲求、意欲を高める支援、個別性／個別ケア、重度化防止 ②介護予防の考え方	(2)－②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	①介護職の役割、専門性と多職種との連携について下記を学習する。 *介護環境の特徴の理解 訪問介護と施設介護サービスの違い 地域包括ケアの方向性 ②介護の専門性について下記を学習する。 *重度化防止・遅延化の視点 *利用者主体の支援姿勢	(3)－①

		<ul style="list-style-type: none"> * 自立した生活を支えるための援助 * 根拠のある介護 * チームケアの重要性 * 事業所内のチーム、 * 多職種から成るチーム <p>③ 介護に関する職種について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 異なる専門性を持つ多職種の理解 * 介護支援専門員 <ul style="list-style-type: none"> * サービス提供責任者 * 看護師等とチームとなり利用者を支える意味 * 互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの提供 * チームケアにおける役割分担 	
	② 介護職の職業倫理	<p>職業倫理について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 専門職の倫理の意義 * 介護の倫理 (介護福祉士の倫理と介護福祉士制度等) * 介護職としての社会的責任 * プライバシーの保護・尊重 	(3) - ②
	③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	<p>① 介護における安全の確保について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 事故に結びつく要因を探り対応していく技術 * リスクとハザード <p>② 事故予防、安全対策について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * リスクマネジメント * 分析の手法と視点 * 事故に至った経緯の報告 (家族への報告、市町への報告等) * 情報の共有 <p>③ 感染対策について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 感染の原因と経路 (感染源の排除、感染経路の遮断) * ○「感染」に対する正しい知識 	(3) - ③
	④ 介護職の安全	<p>介護職の心身の健康管理について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 介護職の健康管理が介護の質に影響 * ストレスマネジメント * 腰痛の予防に関する知識 * 手洗い・うがいの励行 * 手洗いの基本 * 感染症対策 	(3) - ④
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	① 介護保険制度	<p>① 介護保険制度創設の背景及び目的、動向について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * ケアマネジメント * 予防重視型システムへの転換 * 地域包括支援センターの設置 * 地域包括ケアシステムの推進 <p>② 仕組みの基礎的理解について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 保険制度としての基本的仕組み * 介護給付と種類 * 予防給付 * 要介護認定の手順 <p>③ 制度を支える財源、組織、団体の機能と役割について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 財政負担 	(4) - ①

		*指定介護サービス事業者の指定	
	②医療との連携とリハビリテーション	医療との連携とリハビリテーションについて下記を学習する *医行為と介護 *訪問看護 *施設における看護と介護の役割・連携、 *リハビリテーションの理念	(4)－②
	③障害者福祉制度およびその他制度	①障害福祉制度の理念について下記を学習する。 *障害の概念 *ICF（国際生活機能分類） ②障害福祉制度の仕組みの基礎的理解について下記を学習する。 *介護給付・訓練等給付の申請から支給決定まで ③個人の権利を守る制度の概要について下記を学習する。 *個人情報保護法 *成年後見制度 *日常生活自立支援事業	(4)－③
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	①介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割について下記を学習する。 *相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮 *傾聴 *〇共感の応答 ②コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーションについて下記を学習する。 *言語的コミュニケーションの特徴 *非言語コミュニケーションの特徴 ③利用者・家族とのコミュニケーションの実際について下記を学習する。 *利用者の思いを把握する *意欲低下の要因を考える *利用者の感情に共感する *家族の心理的理解 *家族へのいたわりと励まし *信頼関係の形成 *自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする *アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い ④利用者の状況・状況に応じたコミュニケーション技術の実際について下記を学習する。 *視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術 *失語症に応じたコミュニケーション技術 *構音障害に応じたコミュニケーション技術 *認知症に応じたコミュニケーション技術	(5)－①
	②介護におけるチームのコミュニケーション	①記録における情報の共有化について下記を学習する。 *介護における記録の意義・目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録 *介護に関する記録の種類 *個別援助計画書 (訪問・通所・入所・福祉用具貸与等)	(5)－②

		<ul style="list-style-type: none"> *ヒヤリハット報告書 *5W1H ②報告について下記を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> *報告の留意点 *連絡の留意点 *相談の留意点 ③コミュニケーションを促す環境について下記を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> *会議 *情報共有の場 *役割の認識の場 (利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼) *ケアカンファレンスの重要性 	
(6) 老化の理解 (6時間)	①老化に伴うところとからだの変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> ①老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴について下記を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> *防衛反応(反射)の変化 *喪失体験 ②老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響について下記を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> *身体的機能の変化と日常生活への影響 *咀嚼機能の低下 *筋・骨・関節の変化 *体温維持機能の変化 *精神的機能の変化と日常生活への影響 	(6) - ①
	②高齢者と健康	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者の疾病と生活上の留意点について下記を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> *骨折 *筋力の低下と動き・姿勢の変化 *関節痛 ②高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点について下記を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> *循環器障害(脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患) *循環器障害の危険因子と対策 *老年期うつ病症状 (強い不安感、焦燥感を背景に、「訴え」の多さが全面に出る、うつ病性仮性認知症) *誤嚥性肺炎 *病状の小さな変化に気付く視点 *高齢者は感染症にかかりやすい 	(6) - ②
(7) 認知症の理解 (6時間)	①認知症を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの理念について下記を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> *パーソンセンタードケア *認知症ケアの視点(できることに着目する) 	(7) - ①
	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理について下記を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> *認知症の定義 *もの忘れとの違い *せん妄の症状 *健康管理 (脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、口腔ケア) *治療 *薬物療法 *認知症に使用される薬 	(7) - ②

	③認知症に伴う こころとからだ の変化と日常生活	①認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴について下 記を学習する。 *認知症の中核症状 *認知症の行動・心理症状（B P S D） *不適切なケア *生活環境で改善 ②認知症の利用者への対応 *本人の気持ちを推察する *プライドを傷つけない *相手の世界に合わせる *失敗しないような状況をつくる *すべての援助行為がコミュニケーションであると 考えること *身体を通じたコミュニケーション *相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞 察する *認知症の進行に合わせたケア	(7)－③
	④家族への支援	家族への支援について下記を学習する。 *認知症の受容過程での援助 *介護負担の軽減（レスパイトケア）	(7)－④
(8) 障害の理解 (3時間)	①障害の基礎的 理解	①障害の概念と I C F について下記を学習する。 * I C F の分類と医学的分類 * I C F の考え方 ②障害者福祉の基本理念について下記を学習する。 *ノーマライゼーションの概念	(8)－①
	②障害の医学的 側面、生活障害 、心理・行動の 特徴、かわり 支援等の基礎 的知識	①身体障害について下記を学習する。 *視覚障害 *聴覚、平衡障害 *音声・言語・咀嚼障害 *肢体不自由 *内部障害 ②知的障害について学習する。 ③精神障害（高次脳機能障害・発達障害を含む）につい て下記を学習する。 *統合失調症・気分（感情障害）・依存症などの精神 疾患 *高次脳機能障害 *広汎性発達障害・学習障害・注意欠陥多動性障害な どの発達障害 ④その他の心理の機能障害について学習する。	(8)－②
	③家族の心理、か かわり支援の 理解	家族への支援について下記を学習する。 *障害の理解・障害の受容支援 *介護負担の軽減	(8)－③
(9) こころとから だのしくみと 生活支援技術 (75時間)	【ア 基本知識の学習（10～13時間）】		
	①介護の基本的 な考え方	介護の基本的な考え方について下記を学習する。 *倫理に基づく介護 （ I C F の視点に基づく生活支援、 我流介護の排除） *法的根拠に基づく介護	(9)－①
	②介護に関する こころのしく みの基礎的理	介護に関するこころのしくみの基礎的理解について下 記を学習する。 *学習と記憶の基礎知識	(9)－②

	解	<ul style="list-style-type: none"> *感情と意欲の基礎知識 *自己概念と生きがい *老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 *こころの持ち方が行動に与える影響 *からだの状態がこころに与える影響 	
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	<p>介護に関するからだのしくみの基礎的理解について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> *人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 *骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 *中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 *自律神経と内部器官に関する基礎知識 *こころとからだを一体的に捉える *利用者の様子の普段との違いに気づく視点 	(9)－③
【イ 生活支援技術の講義・演習 (50～55 時間)】			
	④生活と家事	<p>家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> *生活歴 *自立支援 *予防的な対応 *主体性・能動性を引き出す *多様な生活習慣 *価値観 	(9)－④
	⑤快適な居住環境整備と介護	<p>快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> *家庭内に多い事故 *バリアフリー *住宅改修 *福祉用具貸与 	(9)－⑤
	⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<p>整容に関する基礎知識、整容の支援技術について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> *身体状況に合わせた衣服の選択、着脱 *身じたく *整容行動 *洗面の意義・効果 	(9)－⑥
	⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<p>移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援について下記を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> *利用者と介護者の双方が安全で安楽な方法 *利用者の自然な動きの活用 *残存能力の活用・自立支援 *重心・重力の働きの理解 *ボディメカニクスの基本原理 *移乗介助の具体的な方法 (車いすへの移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車いす間の移乗、全面介助での車いす・洋式トイレ間の移乗) *移動介助 (車いす・歩行器・つえ等) *褥瘡予防 <p>※高齢者に関する内容に特化せず、視覚障害者や肢体不</p>	(9)－⑦

		自由者等の障害特性を踏まえた内容も併せて学習する。	
⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援について下記を学習する。 *食事をする意味 *食事のケアに対する介護者の意識 *低栄養の弊害 *脱水の弊害 *食事と姿勢 *咀嚼・嚥下のメカニズム *空腹感 *満腹感 *好み *食事の環境整備（時間・場所等） *食事に関する福祉用具の活用と介助方法 *口腔ケアの定義 *誤嚥性肺炎の予防	(9)－⑧	
⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について下記を学習する。 *羞恥心や遠慮への配慮 *体調の確認 *全身清拭 （身体状況の確認、室内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方） *目・鼻腔・耳・爪の清潔方法 *陰部清浄（臥床状態での方法） *足浴・手浴・洗髪	(9)－⑨	
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽やかな排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について下記を学習する。 *排泄とは *身体面（生理面）での意味 *心理面での意味 *社会的な意味 *プライド・羞恥心 *プライバシーの確保 *おむつは最後の手段／おむつ使用の弊害 *排泄障害が日常生活上に及ぼす影響 *排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担、尊厳や生きる意欲との関連 *一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的な方法 *便秘の予防 （水分の摂取量保持、食事内容の工夫／繊維質の食事を多く取り入れる、腹部マッサージ）	(9)－⑩	

	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について下記を学習する。 *安眠のための介護の工夫 *環境の整備 (温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室) *安楽な姿勢・褥瘡予防	(9)－⑪
	⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援について下記を学習する。 *終末期ケアとは *高齢者の死に至る過程 (高齢者の自然死(老衰)、癌死) *臨終が近づいたときの兆候と介護 *介護従事者の基本的態度 *多職種間の情報共有の必要性	(9)－⑫
【ウ 生活支援技術演習(10～12時間)】			
	⑬介護過程の基礎的理解	介護過程の基礎的理解について下記を学習する。 *介護過程の目的・意義・展開 *介護過程とチームアプローチ	(9)－⑬
	⑭総合生活支援技術演習	総合生活支援技術演習について下記要領で学習する。 生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。 *事例検討の意義 *事例検討の効果 *援助方法の見直し また、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価を行う。習得が十分でない場合は、到達目標に達するよう指導を行う。	(9)－⑭
(10)振り返り (4時間)	①振り返り	下記を学習する。 *研修を通して学んだこと *今後継続して学ぶべきこと *根拠に基づく介護についての要点 利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等	(10)－①
	②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	下記を学習する ○継続的に学ぶべきこと ○研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例(Off-JT, OJT)を紹介する。	(10)－②

⑧講師氏名	別紙参照
⑨研修修了の 認定方法	全ての講義教科にそれぞれ所定時間全てに出席し、修了評価に合格した者。
⑩受講資格	次の①②を満たす事。 ①川西市・宝塚市・猪名川町・池田市・箕面市・豊中市・豊能町の住民であること。 ②現在、雇用形態に関わらず福祉・介護業界で就業しておらず、この先、福祉・介護業界で就業を希望していること。
⑪受講手続き	研修講座掲載のホームページやハガキから申込。 申込者が定員超過の場合は抽選で決定。
⑫受講料及び支払い方法	28,000 円 (テキスト代、消費税含む) 振込み (一括前払い) 但馬銀行 川西支店 当座 口座番号 0405911 名義 プラスワンケアサポート株式会社 支払い期日 2024 年 7 月 10 日 (水) 講義・演習時の交通費、昼食費等は上記授業料には含まない。
⑬実習施設	実施しない
⑭使用テキスト	テキスト：「介護職員初任者研修テキスト」 (財) 長寿社会開発センター発行 サブテキスト：「訪問介護の手引き」 兵庫県発行
⑮解約条件及び返金の有無	研修開始前日までの受講生からの解約は全額返金。但し振り込み手数料は差し引かせていただきます。 研修開始後は返金はありません。
⑯補講の方法及び取扱い	研修の一部を欠席 (研修時間の概ね 1 割以内) した者で、やむを得ない事情があるとみとめられる者。 補講については日程相談の上、修了評価までに受講する。
⑰科目免除の取扱い	科目免除はなし 当講座以外で関連講座を修了していても全科目受講すること。
⑱研修担当者名及び連絡先	担当：谷 英司 プラスワンケアサポート株式会社 072-758-1500
⑲研修責任者名及びその役職	担当：森田 和宏 プラスワンケアサポート株式会社 072-758-1500

